

# 藻岩嶺



題字：小林



## 「創立75周年を記念して」



理事長・院長  
傳田健三

平松記念病院は戦後5年目の1950年に開設され、今年度で創立75周年を迎えました。1950年は精神衛生法が成立した精神医療にとって記念すべき年でした。「精神病者監護法」「精神病院法」が廃止され、精神障害者の私宅監置が禁止されたのです。その意味で当院は現代精神医療の先駆けとなり、まさにその発展と歩みをともしてきたと言えます。平松勤先生は北海道で初めて精神医療に森田療法を導入されました。今でもその精神は病院全体に根付いていると思われま。村田忠良先生は入院患者の自治会を作り、患者さんが主体的に運動会や文化祭を行い、スタッフがそれをサポートする病院精神医学を始めました。宗代次先生は回復者クラブ（藻岩親和会）を始め、もいわ工房ピノキオ（デイサービスと共同作業所）を始め、精神科医療・リハビリテーションの場を病院から地域へという流れを作りました。また山下格先生は外来精神療法の神髄を示してくださいました。諸先生の指導を受けながら、当院は市内でも最も早く、専門精神療法、デイケア、作業療法、訪問看護を始め、現代精神医療のモデルを提示してきました。

今後の精神医療は、従来の統合失調症を中心とした医療から、うつ病、双極性障害、不安障害、発達障害、睡眠障害、認知症などへ多様化しています。当院では大人の発達障害外来、睡眠専門外来、治療抵抗性うつ病外来（rTMS外来）、治療抵抗性統合失調症外来などの専門外来を充実いたしました。また、2025年10月14日よりサテライトの「大通ひらまつこころのクリニック」を開院いたしました。

今後もエビデンスに基づく良質で効果的な精神科医療を推進し、社会復帰と地域生活の支援を目指していきたくと考えています。よろしくお願い申し上げます。

# 開院75周年記念講演 市民公開講座

2025年10月4日、北海道新聞社の新社屋「DO BOX EAST」にて、第16回市民公開講座を開催しました。昨年は当院の開院75周年にもあたり、精神科医の香山リカ先生をお招きして特別講演を行いました。さらにこころのリカバリー総合支援センターの阿部幸弘医師と当院理事長・傳田医師も加わり、座談会も実施しました。当日は定員200名のところ、札幌内外から立ち見を含め250名を超える皆さまにご来場いただき、満員御礼となりました。参加者からは「気持ちが高になり明日からまた頑張ろうと思えた」「時間が足りないほど内容が濃く、もっと聞きたかった」など、温かいご感想を多数いただきました。



## 外来作業療法リニューアルしました

地域の皆さまの温かいご支援に支えられ、30年以上にわたり運営してきたデイケアは2025年7月31日をもって閉所いたしました。長年のご厚情に心より御礼申し上げます。これに伴い、より多様な患者様のニーズにお応えするため、外来作業療法を大幅に刷新しました。従来の午前のみの実施から、新たに午後のプログラムを開設し、参加しやすい体制へと整えています。個別の作業療法に加え、心理室と連携したグループプログラムを導入し、支援を強化しました。さらにVRゴーグルを活用した新しいアプローチも取り入れ、より幅広い体験を提供しています。

活動時間・実施日(土日祝・年末年始は除く)

	月	火	水	木	金
午前	創作	学習	運動	創作	芸術
午後	かおトーク (VR-感情認知)	宗 Good	ジブンケア	つたえるチカラ+ (VR-SST)	こことレ

午後： **集団**で取り組む

かおトーク	VRゴーグルで日常生活の様々な場면을体験し、相手の感情を読む力(感情認知)を鍛えます
宗 Good	“こころとからだ”の講話、体操を中心とした軽運動を行う宗医師考案の健康増進プログラムです
ジブンケア	ヨガ・ストレッチ等身体運動を用いたリラクゼーションです。運動と学びを通じストレスケアを図ります
つたえるチカラ+	VRゴーグルで社会生活の様々な場면을再現し、対人交流技能訓練(SST)を行います
こことレ	現実的でバランスの良い認知や行動ができることで日常の問題解決、気分の改善を目指します



# 2025年10月14日に開院しました



特定医療法人 社団 慈藻会

## 大通ひらまつこころのクリニック

### クリニックの特徴



- 女性医師が診療します。  
(睡眠外来、土曜診療は除く)
- 平松記念病院のバックアップで幅広い精神科疾患に対応します。
- 札幌で数少ない睡眠外来の診療を行います。
- 地下鉄バスセンター前駅・大通駅より徒歩5分で通いやすいです。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	●	●	●	○ 第2,4診療
14:00~17:30	●	休診	●	○ 睡眠外来	●	休診

○木曜午後：睡眠外来 佐川洋平医師

○第2, 4土曜：伊藤侯輝医師

初診のご相談は本院の平松記念病院（011-561-0708）までお問い合わせください。



#### 「こころと身体の声に、確かな医療で向き合う」

パソコン画面ではなく患者さんと向き合い、  
お顔の表情や口調などの変化を逃さない、  
困ったことを相談しやすい丁寧な診療を心がけています。  
小さなお悩みもどうぞお気軽にご相談ください。



# 便利になりました

- 2025年4月より「**入院セット**」を導入しました。入院セットとは入院生活に必要な病衣・タオル・日用品・紙おむつ等を日額定額で利用できるサービスです。
- 2025年8月より病棟内での「**スマホの使用**」が可能となりました。
- 2025年10月より「**キャッシュレス決済**」が利用可能となりました。詳細はホームページや院内の掲示をご覧ください。
- 病院の「**SNS**」を始めました。ぜひご活用ください。



X



facebook



Instagram



## 理念 適切な精神科医療・保健・福祉を目指し 次の二つの柱を基礎に据えます

1. 精神障害者の医療および保護を行い、自立のために社会復帰および社会的活動への支援をします。
2. その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上を目指し、地域に根差した病院を目指します。

## 基本方針 理念を実現するために5つの基本方針を定めます

1. 私たちは、人権を尊重し、信頼と満足感を持っていただけるように努めます。
2. 私たちは、相手の身になって受容的態度をもって接するように努めます。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、情報を共有し、連携・協力し合うチーム医療を目指します。
4. 私たちは、常に新しい医療・保健・福祉システムを提供できるように努めます。
5. 私たちは、地域における自らの役割を認識し、地域に貢献します。

## 患者さんの権利と責務について

### 患者さんの権利

私たちは、患者さんの以下の権利を遵守して、日々の医療を行います。

1. 安全で適切な医療を公平・平等に受ける権利
2. 個人として、人格を尊重される権利
3. 治療、病状、検査などについて、十分な説明を受ける権利
4. 十分な説明や情報提供のもと、どのような医療を受けるか選択する権利
5. 個人情報やプライバシーが守られる権利
6. セカンドオピニオンを受ける権利
7. 精神保健福祉法を遵守した医療を受ける権利

### 患者さんの責務

1. 最善で適切な医療を受けるために、病状経過や過去の治療歴、アレルギー歴などの情報を提供する必要があります。
2. 治療効果を上げるために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。
3. 円滑な医療サービス体制を確保するために、病院や社会生活上のルールやマナーを遵守する必要があります。

## 編集後記

2025年度の広報誌発行に向け、各部署のスタッフが会議室に集まりました。アイデアを出し合い、原稿作成と推敲を重ね、出来立てほやほやの『藻岩嶺 第52号』をお届けします。また、広報誌に加えて SNS を活用した情報発信もスタートしました。知りたい情報やご意見がございましたら、ぜひ皆さまからの声をお寄せください。

広報委員長 山田知子



発行人：平松記念病院 広報委員会  
発行日：2026年3月発行



ホームページQRコード

〒064-8536

札幌市中央区南22条西14丁目1番20号

ホームページ：<https://www.hiramatu-mhp.or.jp>

お問い合わせ

e-mail：webmaster@hiramatu-mhp.or.jp

TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710